

こうしゅつ 市議会広報



77号
2025.1.31 発行
山梨県甲州市議会

皆様の声、市政へ届けます。

特集① 公共交通座談会……………P 2～
12月定例会レポート……………P 4～
一般質問 8人の議員が市政を問う！…P 7～
常任委員会レポート……………P 16～
GIKAITOPICS（議会報告会） ……P 18～

議会報告会 を開催します。

2月 **7**(金) 18:30～ **8**(土) 13:30～ **9**(日) 13:30～

塩山、勝沼、大和の3会場。詳細はP19へ！

公共交通座談会(総務文教常任委員会)

甲州市の「公共交通と市民福祉」

地に足の着いた公共交通を

去る12月19日、総務文教常任委員会の企画・運営により、市地域公共交通会議に出席されている市内交通事業者や利用者等の関係団体との座談会を行いました。公共交通における事業者や利用者の立場など様々な意見交換がされ、市の未来について話し合いました。本特集では、その様子をまとめています。

深刻な運転手不足

議員 公共交通事業者側から、今の市の公共交通の課題は何かをお尋ねします。
事業者 タクシー業界はドライバー不足という課題を抱えています。更に、運転手の労働時間の制限が変わり、1日の拘束時間が13時間を厳守しなければなりません。配車のピークは、高齢者の買い物や病院に通う時間なので、午前中の仕事を重点的に対応しています。そうすると、夜間の勤務をさせるということが困難になってきています。
事業者 バス事業もドライバー不足は深刻です。弊社は乗り合い事業と貸し切り事業の主に2つのバス事業で運営しています。乗り合い事業は、乗務員が不足しているからといって、法的に欠便することができませんので、貸し切り事業の仕事量を少なくして乗り合い事業へ乗務員を投入しています。このようにして地方の乗り合い事業を維持しているというのが現状です。
議員 タクシー業界、バス業界の現状を確認しまし

行きたいところに行ける公共交通を目指して

人口減少による過疎地域はバスやタクシーなどの公共交通機関の利用者が少なく、減便や廃止されるケースが多くあり、マイカーを持っていない高齢者は買い物や病院に行きたいときに行くことが困難な状況です。

た。そのような中、市の市民バスをどのように担っていたかについてお聞きかせ下さい。
事業者 市民病院の周辺を中心に、コンパクトシティ化が顕著というのを感じています。市民病院の周りで生活に必要なものが賄えるようになってきているので、今後は路線バスを走らせる路線を市民病院へ延伸すれば、より一層利便性が高まると感じています。
議員 公共交通を利用する市民としての要望や課題などのご意見を伺います。
澤田さん/老人クラブ 私は大和地区に住んでいますが、免許証も車も返したので今はバスを利用しています。実際に乗る方は買い物や病院に行くのに5、6人が乗る程度です。そのような中でも、運転手さんが足の不自由な方や、お年寄りの方の荷物を持って降ろしてあげたりと、非常に感激しています。しかし、バスの本数が少ないことが少し残念に思うところです。
宮原さん/社協 社協として、勝沼健康福祉センターから無料送迎バスを出しています。大和地区には週2

回、その他は地区毎に週1回の送迎をしています。また、車いすのまま乗れる福祉車両を2台保有しており、ほぼ毎日貸し出しをしている状況です。市がおこなっているデマンドバスについての意見として、現在の運行範囲は塩山エリアだけですが、大和エリアとか勝沼エリアへの拡大も検討してもらいたいです。
中村さん/民生委員 民生委員は独居高齢者と関わりを持っています。高齢者で足が不自由な方はその公共交通の乗る場所まで行くのも大変です。そのような方達に対してタクシー券を出して、買い物や病院あるいは市役所への送迎に充てていただくなど、より困っている方に特化した支援が必要だと思っています。また、車が無いと生活が不便というところで、高齢で少し認知症に罹っているような方でも、だいたが無理をして車を運転している方がいます。そういった方々にも危険を防止する意味では、何らかの形で支援をして、車の免許証の返納ということも高齢化の中では必要になってくると思います。

デマンドバスの運行の課題

議員 デマンドバスが民間のタクシース会社あるいはバス会社の営業を圧迫しないかというのを懸念しています。今後、勝沼地区と大和地区にデマンドバスを配車するようになると、民間企業の営業を圧迫するようないことがおこるのでしょうか。
事業者 デマンドバス運行開始当初、タクシースの売上げが落ちましたが、デマンドバス事業を請け負うことで、そのマイナス分を補填しようという考えを持っています。今後、勝沼地区、大和地区でデマンドバスを実施するとすると、私どもの経営圧迫よりも、市がどこまで支援するかが重要だと考えます。
議員 笛吹市ではAIデマンドバスを実施しています。市のデマンド交通の利便性を高めるといって、AIの導入も含めてそれが路線拡大に繋がることは可能でしょうか。
事業者 できないことはないと思います。



女性ドライバーの登用

議員 ドライバー不足という件で、女性の登用はいかがでしょうか。
事業者 令和5年から、軽自動車のタクシースを用いて女性のパートのドライバー募集に取り組んでいます。その結果、大きなセダンのタクシースは運転できないが、軽のタクシースなら運転できる、私は自分の出来る事で社会に貢献したい、という事で入社した方がいました。次年度以降も軽の電気自動車を増やし、女性ドライバーを増やしていきたいと思っています。
事業者 バスでは過去に何名か乗務してもらいましたが、今現在は女性の乗務員はおりません。拘束時間が長いというイメージもあり、なかなか難しい状況です。
事業者 私どもにも12月13日に日本版ライドシェアの許可が下り、12月27日から金・土曜においては、夕方4時から10時までライドシェアを1台運行する予定でおります。全ての課題を克

服できる訳ではありませんが、少しでもお役に立てると思い実施いたします。
宮原さん/社協 社協の事業として、例えばゴミ出しとか買い物代行を行う、お助けサポートという事業を行っています。また、道路運送法の緩和に伴い今は検討段階ですが、車での送迎もお助けサポートのメニューに加えていと考えています。
議員 バス・タクシース事業者の皆さんと、それを利用する市民の方々からご意見やご提案を頂きました。中には、ライドシェアやお助けサポートなど、先進的な取り組みやチャレンジも聞くことができ、明るい未来を想像できるように思いました。議会としても、甲州市の公共交通がより良いものになっていくよう取り組んで参ります。本日はありがとうございました。

総務文教常任委員会
◎高野浩一 ◎飯島孝也
丸山国一 廣瀬明弘
高畑一幸 青柳好文
平塚 悟 相沢俊行
有賀公子

※地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、令和6年3月、タクシース事業者の管理の下で、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供を可能とする自家用車活用事業

令和6年甲州市議会12月定例会は、11月28日から12月20日までの23日間の会期で開かれ、令和6年度一般会計補正予算案、条例案など23件の事件について慎重審議を行いました。
主な議決内容を要約してお伝えします。

国民健康保険税 令和7年4月1日から引き上げ

◆国民健康保険税条例の一部を改正は、県の国民健康保険運営方針を踏まえ、全県の平均保険税率等に比して、かい離が大きい区分の本市税率を改正するものです。本件は総務文教常任委員会に付託されたが、国民

健康保険事業に大きく関わる為、厚生経済常任委員会との連合審査会を開催し、慎重審議の結果、可決されました。

■委員長報告に反対討論
佐藤浩美議員 県で国保

税の水準統一を、という事だが、長年医療費削減に寄与している本市の努力や市民負担への補助制度がないままでの増税は、生活を益々圧迫するため反対。

◆市長等の給与及び旅費条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正は、人事院勧告及び県人事委員会勧告による内容に鑑み、市長等の期末手当の支給月数を改定するため、可決されました。

◆市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正は、本市特別職の期末手当の支給月数の内容に鑑み、市議会議員に支給する期末手当の支給月数を改定するため制定するものであり、可決されました。

◆令和6年度一般会計補正予算(第6号)は、2665万円を追加するもので、総額を213億5368万6000円としました。主たる歳出内容は衛生費に保健衛生総務費として90万円を、教育費に小学校施設管理費等として2575万円を追加するものです。主な歳入は繰越金に1175万円、市債に1490万円の確保から初日議決となり可決されました。



常任委員会及び連合審査会も含め23日間の会期で開催された12月定例会

勝沼病院 診療用X線装置更新

◆勝沼病院事業会計補正予算(第2号)は、診療用X線装置更新のため収益的収入及び支出のうち、医療外収入に90万円、医療外費用を同額増額し、建設改良費に990万円増額するもので、事業期間の確保から初日議決となり可決されました。

◆令和6年度一般会計補正予算(第7号)は、21億4698万6000円を追加し、総額を235億67万2000円としました。主たる歳出は総務費にふるさと支援基金積立金等として8億733万7000円、民生費に障害者自立支援給付費等として1億9566

万8000円、衛生費に保健衛生総務諸経費等として2183万円、農林水産業費にワイン振興費等として989万1000円、土木費として下水道事業会計繰出金等に4456万3000円、教育費へ市教育委員会事務局運営費等として1234万5000円、公債費に10億4800万9000円を追加するものです。主な歳入内容は、寄付金として7億円、市債に10億8149万円を追加するもので、可決されました。

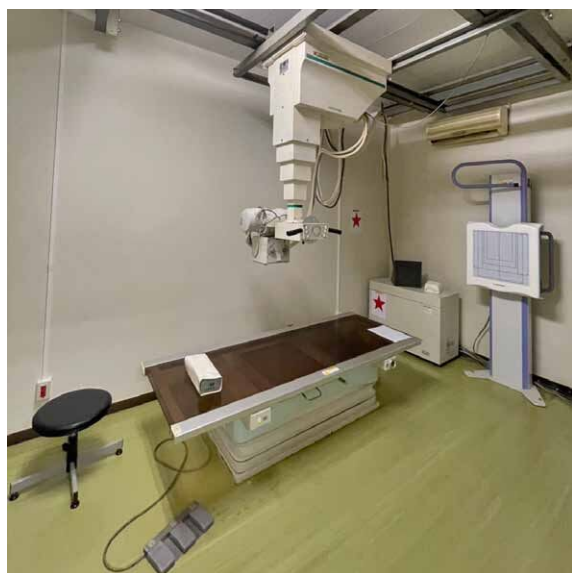
◆シエアオフィス甲州の指定管理者については、シエアオフィス甲州の管理業務を効率かつ効果的に行うため、株式会社ジブラポを指定管理者として指定するもので、可決されました。指定期間は令和7年4月1日から令和10年3月31日までとなります。

◆「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める請願は、全会一致で採択され、関係省庁に意見書を提出しました。

◆診療所設置及び管理条例の一部改正は、利用者の減少や施設の老朽化等の要因により、在宅診療にて対応している現状に鑑み、落合出張診療所、一ノ瀬出張診療所の診療機能を令和7年3月末を持って廃止するため、所要の改正が必要であり、可決されました。

◆市道路線の認定については、都市計画道路塩山駅下於曾線、下塩後牛奥線の事業実施にあたり、2路線を市道認定するもので、可決されました。

◆市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び市町村総合事務組合規約の変更に関する協議については、事務組合が共同処理する事務のうち、住民の交通災害共済事業については令



30年以上使用され今議会で更新が決定された勝沼病院のX線装置

◆勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算(第2号)は、収益的収入及び支出のうち、収入は営業外収益を526万5000円増額し、支出は営業費用を618万3000円増額するもので、可

◆市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び市町村総合事務組合規約の変更に関する協議については、事務組合が共同処理する事務のうち、住民の交通災害共済事業については令

委員会構成を 変更

12月定例会において、委員会の構成が変更となりました。(◎委員長 ○副委員長)
【総務文教常任委員会】
◎高畑一幸
【議会運営委員会】
◎廣瀬明弘 ○高畑一幸 丸山国一 中村勝彦 岡部紀久雄 飯島孝也 相沢俊行 萩原哲也
【議会広報編集委員会】
◎有賀公子 ○丸山国一 日向正 岡部紀久雄 高畑一幸 青柳好文 小林真理子 相沢俊行 佐藤浩美



質問議員	質問内容	ページ
日向 正 (ひまわり)	①図書館、市民文化会館について ②魅力あるまちづくりについて ③公共施設について ④リサイクルについて	8
丸山 国一 (フォーラム進夢)	①来年度予算編成について ②防災について ③カスタマーハラスメントについて ④都市計画について	9
高野 浩一 (政和クラブ)	①農業振興について ②地域創生推進事業について ③子育て支援について ④健康増進について ⑤部活動地域移行について ⑥インフラ（道路）整備について	10
相沢 俊行 (甲州希望の会)	①NHK 甲府が公開している平成大合併に関するアンケートへの市長回答について ②ふるさと納税について ③害虫駆除への対応について	11
有賀 公子 (公明党)	①市役所窓口の対応等について ②誰もが安心して暮らせる地域社会の構築について ③防災・減災強化の取り組みについて	12
荻原 哲也 (市民ハーモニー)	①人と動物が調和し共生する社会の実現に向けての取り組みについて ②ゼロカーボンシティ甲州の推進について	13
佐藤 浩美 (日本共産党)	①空き家対策について ②市内外の若者の定着について ③「隠れ教育費」負担の軽減について	14
飯島 孝也 (市民ハーモニー)	①甲州アルプスと連なる森の保全と利活用 ②教育環境で人を呼び込む ③まちづくりの官民連携	15

※一般質問の発言順序は抽選により決定しています。

一般質問

12月定例会では、産業・教育・福祉など市政全般にわたり、12月9日・10日の2日間、一般質問が行われました。それぞれの内容を要約してお伝えします。

詳細な内容は、甲州市議会ホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。12月定例会会議録を市立図書館などでご覧ください。掲載・発行はいつでも3月上旬の予定です。



会議録検索システム

令和6年12月定例会議案等議決結果一覧表

(賛成=○ 反対=● 退席=△ 欠席=欠)

種別		議案 番号	議員名		議 会 広 報	荻 原 哲 也	有 賀 公 子	佐 藤 浩 美	小 野 公 秀	矢 崎 友 規	相 沢 俊 行	平 塚 恒	小 林 真 理 子	飯 島 孝 也	高 野 浩 一	青 柳 好 文	高 畑 一 幸	廣 瀬 明 弘	岡 部 紀 久 雄	日 向 正	中 村 勝 彦	丸 山 国 一	結 果		
			案件名																						
12 月 定 例 会	承認案	承認 第4号	専決処分の承認を求めることについて (令和6年度甲州市一般会計補正予算(第5号))	P. 4	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認		
	条例案	議案 第74号	甲州市職員給与条例及び甲州市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について																						
		議案 第75号	甲州市長等の給与及び旅費条例及び甲州市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 4	○			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		議案 第76号	甲州市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	P. 4																					
		議案 第77号	甲州市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	P. 4 P.16	○	欠	●		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
		議案 第78号	甲州市手数料条例の一部を改正する条例制定について																						
		議案 第79号	甲州市診療所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 5 P.16	○			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		議案 第80号	甲州市社会体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	P. 4 P.16																					
	補正 予算案	議案 第81号	令和6年度甲州市一般会計補正予算(第6号)	P. 4		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
		議案 第82号	令和6年度甲州市勝沼病院事業会計補正予算(第2号)	P. 5																					
		議案 第83号	令和6年度甲州市一般会計補正予算(第7号)	P. 5 P.17																					
		議案 第84号	令和6年度甲州市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)																						
		議案 第85号	令和6年度甲州市診療所事業特別会計補正予算(第2号)																						
		議案 第89号	令和6年度甲州市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		○	欠	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		議案 第87号	令和6年度甲州市水道事業会計補正予算(第2号)																						
	その他の 案件	議案 第88号	令和6年度甲州市下水道事業会計補正予算(第2号)																					可決	
		議案 第89号	令和6年度甲州市勝沼ぶどうの丘事業会計補正予算(第2号)	P. 5 P.17																					
		議案 第90号	シェアオフィス甲州の指定管理者の指定について	P. 5 P.16																					
		議案 第91号	甲州市立勝沼病院の指定管理者の指定について	P. 5 P.16																					
		議案 第92号	市道路線の認定について	P. 5	○	欠		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		
人事案	議案 第93号	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び山梨県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	P. 5																				同意		
	議案 第94号	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議について																							
	人事案	議案 第95号	人権擁護委員の推薦について		○	欠	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
	請願	請願 第3号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願	P. 5	○	欠	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	採択		
	議員 発議案	発議案 第7号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書の提出について		○	欠	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		

GIKAI TOPICS

本号より、一般質問ページにて、それぞれの議員の一般質問が、QR から動画へリンク出来るようになりました。それぞれの議員のページの QR からアクセスしてください。





丸山 国一 議員

フォーラム進夢



地域防災計画
(市HP)

問 カスタマーハラスメントについて庁内の現状は。
答 カスハラ相談は今までのところ寄せられていない。
問 カスハラ防止の対応、

問 塩山駅南口都市計画道路の事業が進むが事業化に向けたスケジュールを問う。
答 令和7年度からおよそ完成までに11年間を見込んで

問 来年度予算編成について、基本的な考え方を問う。
答 国等の動向を踏まえ福祉の増進に努め、最小のコストで最大の効果を得る編成とする。
問 主要施策、事業について問う。
答 ふるさと納税寄附金の増加及び安定財源を確立するための事業を考えている。
問 来年度に向けての学校教育について問う。
答 人、自然、ふるさとを愛する甲州教育実施のため引き続き取り組む。
問 議員の提案、提言を受け、課題の解決に向かう事

答 が必要と考えるがいかがか。
問 議員からの指摘事項を十分に踏まえ次年度の予算編成を進めていく。
問 防災力をしっかり向上していくための近年の取り組みについて問う。
答 甲州市地域防災計画に県地震被害想定調査の結果を反映させるなど改定業務を進めている。
問 市として公助の部分を含めた課題はどのように把握しているのか。
答 地区防災計画やマニュアルの作成は、自主防災組織にて作成するよう促す。

問 地域の防災力をしっかり上げていく事について対応と考えるを問う。
答 地区の特性を熟知している自主防災組織にて主体的に作成することが重要。
問 下萩原地区は重川を渡り東公民館が指定避難所となっている。地域に避難所が必要といった要望があるが、市はどのように考えるか。
答 下萩原地区には一時避難所となる公共施設がないため、指定避難所への安全な移動手段や地区内での避難所の確保は、防災上大きな課題。市の責務として人命の安全を第一に考え早急

に対応すべき案件として地域の方々と相談し最良の対応を検討する。
問 避難所となる学校体育館へのエアコン設置は。
答 現状は災害協定に基づきスポーツクーラー等を調達し対応する。国では補助金等により学校体育館の空調整備を加速するとの情報もあるため、検討する。



下萩原地区の避難所指定が課題となっている塩山東公民館

対策、取り組みを問う。
答 よりよい市民サービスを平等に継続していく体制を構築していく。
問 市としてカスタマーハラスメント防止条例を作る事が必要と考えるが。
答 市全体で持続可能であり実効性のある方策について検討していく。

※顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為の事、略してカスハラとも言う。



日向 正 議員

ひまわり



大菩薩の湯公式HP

問 大菩薩の湯と勝沼ぶどうの丘の連携で経営改善の取組みは

答 天目山温泉を含めた3施設で情報交換等行っていく



連携が求められる大菩薩の湯、天目山温泉、ぶどうの丘

問 塩山図書館の開館時間を、現在の10時から9時間館にすることはできないか。
答 平日の時間延長を行ったり、土日祝日は休館はない。ウェブ上からの圖書の予約など利便性の向上にも努めている。業務体制の見直しも必要になるため現時点では難しい。
問 甲州市市民文化会館大ホール舞台の劣化修繕及び、壁面への手すりを設置することはできないか。
答 使用回数の増加による経年劣化は避けられないことであるが、ささくれ等についてはやすりがけなどの

対策を行う。大ホール2階壁面への手すり設置は、誰もが安心して利用できるよう今後検討していく。
問 魅力あるまちづくりという点から、塩山バイパスを花や木がいっぱいある街並みにする事業や、市内の新築住宅への苗木プレゼントなどの事業について問う。
答 県の市町村緑化推進組織活動事業があり、地域団体などが市内の緑化を推進する事業であれば、こちらを活用して苗木などを配布することは可能となる。
問 市民の意見をまちづくりに生かすため、抽選で選んだ市民を審議会などの委員に選任する仕組みが導入できないか。
答 設置目的の達成が困難になるため、導入できない。

問 観光客の誘致や施設の運営などの共通テーマがある、大菩薩の湯とぶどうの丘の連携を深め、経営の改善等に取り組むことができないか。
答 コロナ禍による利用客の減少や、近年の物価高騰に伴う燃料価格の上昇など、厳しい経営状況が続いている。
問 リサイクルステーションの今後の活用等を問う。
答 今年度新たに1か所を設置することが出来た。ゴミの資源化を推進するためリサイクルステーションは大きな役割を果たしているため、今後も増設を進めていく。
問 ゼロカーボンシティ宣言の甲州市として、生ごみを燃えるごみとしない取り組みについて問う。
答 引き続きの生ごみ処理容器及び処理機の購入費補助事業の実施で、今年度は昨年実績を上回る46件の導入があった。



相沢 俊行 議員

甲州希望の会



甲州市ふるさと納税
(市 HP)

問 今シーズンのカメムシとアメリカシロヒトリの大発生状況と対策を問う。

答 カメムシは7月と9月に県から病害虫発生予察注意報が発表され8月の市内定点調査地点では平年比4.2

問 耕作放棄地や空き家の庭木の害虫駆除への消毒薬の補助金制度の考えは。

答 早急な対応が困難な場合や放置により被害拡大等必要と判断した場合に、防除薬等の購入費支援を前向きに検討している。

問 NHK甲府放送局が実施した平成大合併のアンケートへの市長の「尻すぼみ感がある」の回答を問う。

答 市長 20年前当時の執行部では行政経費等を減らしていくために5万人以上の地域を目指した。特例債を活用し国の指導の下やってきたが、国が今になって出していない。その意味で国からすると「尻すぼみ」という言い方をした。

問 市長のアンケートへの回答の趣旨と何年後どの近隣自治体と合併の考えを問う。

答 市長 何年後に合併とは現状考えていない。国の動き方で自治体を左右するものと理解している。

問 本市の持続可能な自治体経営の市長2期目の喫緊の課題と対応策を問う。

答 市長 喫緊の課題は地域経済の縮小や若年層等の市外流出による地域活力の低下であり、対応策の一つとして、子育て支援の強化、移住定住策、魅力のあるまち、若者がここで暮らしてよかったといえるまちづくり。具体的に、小中学校の給食費の無償化、こども家庭センターの設置、保育料無償化を行い、今回は保育園の副食費の無償化を提案

問 ふるさと納税返礼品のクレーム対応や県産果実取引扱いガイドライン新基準に市の対応を問う。

答 クレーム対応は一定のルールの下、不都合の要因を明確にし、必要に応じ再発送等の対応を行っている。ふるさと納税返礼品県産果実品質確保協議会に市も参画し改定があれば原則厳守する。改定の原案が提案されれば意見も述べ構成団体で一体的に協議していく。

問 ふるさと納税返礼品の特産品開発策の内容を問う。



ふるさと納税返礼品 人気の高いシャインマスカットであるが、次の商品開発も待たれる

答

加工施設を含め商品開発をスピード感をもって検討する

問

ふるさと納税返礼品の特産品開発は

人間ドック		
生活習慣病やがんの早期発見・治療により健康の維持増進を一部助成します。希望により検査項目を追加することもできます。		
対象者	甲州市国保人間ドック	甲州市社会保険加入者
	・甲州市国保加入者 ・41～74歳で、国保税を滞納していない世帯の方	・社会保険加入者 ・41～74歳で、社会保険加入者 ・職場や加入して助成制度がある。さい。
助成額	17,000円 (がん検診・特定健診分)	11,000円 (がん検診・特定健診分) ◎ご加入の健康保険料
定員 (先着順)		

来年度からの導入に向けて検討される
75歳以上の人間ドック費用助成

問 本市の農業従事者の数の減少状況は。

答 20年前より33・42%減少し2295戸、3676人となっている。

問 農福連携により農家の労働力の手助けを行っているが課題はどうか。

答 作業時期が重複し受託しきれない状況。峡東地域農福連携推進協議会等と連携し充実するよう努める。

問 ぶどうの丘でのトライアル事業について問う。

答 閑散期の利用者増を目的に副業人材活用トライアル事業の実証実験を行っている。

問 児童クラブ利用アンケートの結果からも奥野田児童クラブの環境改善は緊急の課題と考えるがどうか。

答 国の定める児童一人当たりの占有区分面積1・65㎡確保のため、学校や公共施設、民間事業所等活用できる場を求め協議している。

問 児童クラブや放課後子ども教室など学校施設の活用の検討はどうか。

答 教員の働き方改革の面からの課題もあるが、子どもの居場所づくりは必要であり市長部局とも検討する。

問 高齢者の健康増進から

問 西関東連絡道路から市内へのアクセス道路の進展への思いは。

答 市長 この道路は物流、観光、医療、市民生活等への影響また災害対策など時間的短縮も期待される。

問 本市の中学生の部活動の状況を伺いたい。

答 少子化の影響から単独での活動が困難な競技があり、他校との合同活動などで対応している。

問 運動部での地域移行の状況は。

答 市ではラグビー部と女子ソフトボール部の活動に取り組んでいる。課題としては、組織体制、指導者の確保、また生徒の移動手段、費用負担、公式戦への出場資格など協議を行っている。

問 部活動において学校体育館の空調設備の設置は必要と考えるがどうか。

答 学校では図書室、理科室、特別教室を優先し、体育館についてはそれ以降として検討する。

※1 都市部の副業希望者のうち故郷や地方への協力を希望する方と市内事業者を結び付け、事業者が抱える各種課題の解決に副業者の支援をいただく制度の本格的な導入に向けた実証事業
※2 企業と地方自治体が、協定書に基づき、社員を地方自治体に一定期間派遣し、地方自治体が取組む地域課題に対し、社員の専門的なノウハウや知見を活かしながら即戦力人材として業務に従事することで、地域活性化を図る取組



問

人間ドック費用助成は



高野 浩一 議員

政和クラブ



国保人間ドック健診
(市 HP)

いる。人材は地方再生プロジェクトのアドバイザーを採用し、首都圏を中心に旅行代理店などの業界へのPR活動を行っている。

問 市内の民間事業者への人材活用事業はどうか。

答 市内4事業者への参入を年内には動き出したい。

問 地域活性化起業家事業の進捗を問う。

答 現在は会社の所在地要件、市との請負契約、また年度途中である事など難しい状況もあるが、次年度以降も継続して取り組みたい。

も75歳以上の人間ドック助成金は必要と考えるが。

問 市長 来年度からの導入に向けて、検討したい。

問 本市の中学生の部活動の状況を伺いたい。

答 少子化の影響から単独での活動が困難な競技があり、他校との合同活動などで対応している。

問 運動部での地域移行の状況は。

答 市ではラグビー部と女子ソフトボール部の活動に取り組んでいる。課題としては、組織体制、指導者の確保、また生徒の移動手段、費用負担、公式戦への出場資格など協議を行っている。

問 部活動において学校体育館の空調設備の設置は必要と考えるがどうか。

答 学校では図書室、理科室、特別教室を優先し、体育館についてはそれ以降として検討する。



荻原 哲也 議員

市民ハーモニー



甲州市環境基本計画
(第2次) 概要版
(市HP)

問 地域猫のケアに対してボランティア等が自己負担する餌代や医療費への助成も含め、持続可能な制度も

答 甲州市の猫の不妊・去勢手術助成金の交付実績と手応えは。助成制度の継続の必要性を問う。

答 実績は令和4年度329匹、354万6千円、5年度257匹、301万3千円、6年度は現在まで204匹、246万4千円である。年々数が減少傾向にあり、県で殺処分ゼロになったことから、着実に成果は出ていっていると判断しており、事業を継続していく。

問 地域猫のケアに対してボランティア等が自己負担する餌代や医療費への助成も含め、持続可能な制度も

答 太陽光の再エネの導入、中小水力発電の導入、公共施設のバイオマス化を推進し、2013年度比でC

問 意欲ある民間企業との積極的な連携も視野に入れた小水力発電の検討が必要ではないか。

答 「やまなし県有林内における小水力発電事業導入推進事業」により、現在大和町焼山付近での事業実施候補者にマルシン石油株式会社を選定され、県との協定を締結したため、県を通じて調整を開始した。

問 ゼロカーボンシティ甲州推進の騎手として、全国に向けたPRの役割を担ってもらう環境大使を新設してはどうか。

答 環境大使がどのような効果があるか想定が難しいが、今後の環境行政の継続的な意識啓発の一つの手段として研究していく。

問 甲州市には、地球規模の環境問題に焦点を当てながら、子どもたちへのアプローチを中心に、全国を巡り活動している人物がいる。そういう人物を環境大使にすることを検討してほしい。

答 市長 どういう位置づけで環境大使があるかを精査しながら、どういう方向で行ったらいいかも見極めながら進めていきたい。

※中規模から大規模な発電事業者と需要家（電気の利用者）の間で締結する電力購入契約

答

補助事業を継続する

問

猫の不妊・去勢手術助成金制度の継続実施を



不妊手術を受けた耳に切れ込みのある地域猫
(写真は「どうぶつ基金」から提供)



有賀 公子 議員

公明党



ユマニチュード学会 HP

問

おくやみワンストップサービスの利用法は

答

電話予約で、必要記入事項も最小限にする



事前予約により設置されるおくやみコーナー

問 令和6年12月より市役所窓口を設置された「おくやみコーナー」利用法の詳細を求める。

答 ひとつの窓口で完了する「おくやみワンストップサービス」を12月から開始した。ご利用可能者は、甲州市民であった方のご遺族で、来庁予定の2開庁日前までに、市民課住民記録・戸籍担当に電話で予約する。予約の枠は10時、14時、15時30分からと、一日に3枠用意している。なお、予約なく、従来どおりの手続きも可能。また、おくやみコーナーを予約された方には、

問 「ユマニチュード」とはフランス語で人間らしさを取り戻すという意味があり、認知症ケアの技法である。今後増えてくると言われる認知症等の方や、ご家族、支援者の方々に、「ユマニチュード」技法の普及が必要になってくると考えるが。

答 市としては、まずは正しい基礎知識や基本的な接し方について多くの市民の方に学んでいただけるよう、認知症に対する理解への普及・啓発に取り組んでいく。

問 昭和56年5月以前に着工された木造住宅に住む方は、耐震診断が無料で行われる。能登半島地震以降、本年度の耐震診断の申込み者は、増加しているのか。

答 本年度、相談件数は33

問 件、診断並びに改修実施は18件と、例年と比較して増加傾向にある。

問 県では、耐震シェルター設置支援事業として、今年度から新たに「防災ベッ

答 本年度、相談件数は3件で、まだ申請には至っていない。引き続き周知・啓発活動を展開していく。

問 災害時において「地産地防」という言葉がある。地域で起こった災害に対して、地域で対応する能力を持つことを言う。また、その力を高めていくことの重要性を意味し、地域の産業技術で地域の防災を強化するという概念だが、本市の考えを問う。

答 本市のように集落が点在する地勢では、特に初動対応の情報収集が重要となるため、ドローンの活用が有効と考えている。物資の運搬については、大手運送事業者より災害備蓄品の管理も含めた災害協定のお話もいただいている。ドローンの活用等を含め、「地産地防」の取組については、市民と協調し、引き続き進めていく。



飯島 孝也 議員

市民ハーモニー



モリカツ公式 HP

問 甲州アルプスオートルートチャレンジやモリカツ活動への支援の考えは。

答 令和6年11月に市内で実施、市や市教委が後援。モリカツでは移住定住促進やごみ分別アプリのPR、木育コーナー設置等が好評、今後も支援と連携を進める。

問 森林環境譲与税の充当先と山岳アクティビティに活用する考えを問う。

答 森林所有者への意向調査や間伐、ナラ枯れ対策に充当中。山岳アクティビティは有効と認識し、木育事業を通じ森林振興を進める。

問 甲武信ユネスコエコパ

ーク理念を森林整備計画にどう反映しているか問う。

答 森林整備計画は令和4年に策定され、生態系保全と利活用調和の理念が反映されている。計画に基づき森林施策を進めていく。

問 教育環境で移住定住を促進する具体策を問う。

答 児童生徒1人1台端末や給食費無償化を実施。学力向上や経済負担軽減を図り、教育環境を充実させる。

問 学校独自の特色づくりを進める具体的方策を問う。

答 地域資源を活用し、特色ある目標を設定。学校運

地域公社の可能性は

問 ふるさと納税市民提案型やクラウドファンディング活用の考えを問う。

答 市民提案型補助制度やクラウドファンディング型ふるさと納税を実施。今後追加メニュー等検討する。

問 公益性のある法人等に関するさと納税充当の考えは。

答 公益性・透明性・行政連携を確保すれば、地域貢献団体が有効な充当先となる。今後鋭意検討をする。

問 観光資源を活用した地域商社・公社設立の考えは。

答 「ワインツーリズム」が

候補登録済。観光資源を活用し、新商品開発や地域産業振興に取り組む。

問 ぶどうの丘の公社運営への可変可能性を問う。

答 独立採算で運営中だが、公社化には慎重な検討が必要。地域資源を活用した仕組みづくりを研究する。

問 官民連携を前提とした新たな観光拠点整備を問う。

答 市長 新施設整備を視野に加工場や道の駅機能併設拠点を検討。来年度に組織を立ち上げ、計画を進める。



11月に実施されたモリカツの木育コーナーの様子

※1 甲州アルプス（大菩薩小金沢連嶺）で行われるトレイルランイベント
 ※2 市内で行われた森と人がつながれる場を作り、森林の大切さと林業とのつながりを理解していただける木育体験イベント



佐藤 浩美 議員

日本共産党



甲州市空き家バンクについて
(市 HP)

問 空き家の実態調査の結果は

答 市内の空き家は400軒である



学校指定の学習ドリルを用いて学習する生徒

問 空き家の実態調査方法、管理不全空き家の件数、空き家率を問う。

答 職員が現地にて目視で状態確認し、劣悪、悪、その他の3段階で評価した。空き家は400軒あり、率は3.05%。劣悪の17軒を優先的に調査し庁内会議や審議会に諮っていく。

問 空き家を減らす予防策が必要と考えるが取組みは。

答 相続登記が義務化されたこと、固定資産税等の住宅用地適用除外になることを周知していく。

問 空き家の登録や利活用を促すために所有者や入居

者への援助策として、解体、リフォーム費用等へ独自の助成制度を設けてはどうか。

答 空き家バンクへの登録を前提に1物件1回のみ、不要物の処理、清掃に補助をしている。解体費用については農地の宅地化抑制になることから制度化に向けて検討している。

問 予防、管理、活用を一元化して担当する独立した部署を置くべきではないか。

答 検討課題として協議をしていく。

問 市内の事業所に雇用されている若者が本市へ定着することを目的に、市内外の若者が業種を超えて横のつながりを作れる場を提供してはどうか。

答 ニーズを把握し効果的な方法を研究していく。

問 若者の奨学金返還に対する支援を考えているか。

答 県では新たな制度で実施される予定である。市独自策は先行事例を研究する。

問 小中高校入学時、学校生活を送る上で保護者負担の費用を把握しているか。

答 本市では、年間の学用品に小学校は2万7000

円、中学校では4万7000円。入学時は小学校で約2万円、中学校では約7万円が発生している。

問 私費負担が多い現実をどのように考えているか。

答 直接的に生徒個人に帰属するものは私費としている。学校教育活動を通して生活習慣の指導を展開していくため学校で徴収せざるを得ない負担と考えている。

問 学年諸経費を口座振替で集金する際の手数料は、公費負担すべきではないか。

答 学校徴収金特別委員会にて協議していく。

問 学習ドリルや修学旅行費等は公費負担を検討すべきではないか。

答 ドリル等は個々の学力向上に資するもの、校外学習は見聞を深めるもので直接的利益が生徒個人に還元されるものであり、保護者に負担していただいている。

問 安価な通学バッグ導入、学校指定を外す、制服自由化、教材の精選等で私費負担の軽減をしてはどうか。

答 小学生のランドセルは指定していない。中学生のカバンと制服は、購入費に差が生じ学校生活に不安が生じるという保護者がいる。



SNS で海外に情報発信する KOJ

KOJの海外輸出プロジェクト に負担金として492万円



KOJ 公式 HP

予算決算常任委員会を11月28日、12月5日、16日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

英国訪問におけるKOJのプロモーションの最大の活動は何か。
厳選したトップソムリエを対象に山梨ワインの試飲会を実施する。また駐英日

本大使との夕食会、現地視察として日本ワインを販売している所も訪れる。
営業費用、施設経営費としてKOJ負担金は、幾ら予算計上されているのか。
英国ロンドンに行くとのことだが、構成団体名と市長を含めた参加関係職員を問う。
構成団体は、甲府商工会議所、山梨県ワイン酒造組合、あとは県の関係がプロデューサーも含め4名。ワイナリーの関係が16名、甲府商工会議所が2名、役所の職員及び市長を含め、計26名での訪問となる。

令和6年度一般会計補正予算（第7号）
ふるさと納税事業について、「シフトプラス」社のこれまでの委託業務内容について問う。
委託料は、12月で294万8900円である。補正が7億円に対し、3.5%の委託料で、2450万円、税込みだと2695万円となる。「シフトプラス」は全国でナンバーワンシェアの企業であり、本市としては一昨年から従前の委託業者から「シフトプラス」に変更した経緯がある。結果、売り上げ金額も伸びている。業務の中身については、申告の特例受付から証明、「さとある」の発送まで、全部含んで委託をしている。また、本市職員も一緒に「シフトプラス」の甲府事業所に行き、写真の見映え等も指導を受け、協力しながらやっている。
児童センターのエアコンの修繕について、「松里

児童クラブ」と「祝児童クラブ」の2か所を改修すると決めた根拠と、その方針を問う。
夏頃から機器の調子が悪くなり、点検業者によればこれは故障ではなく、その機種機能・性能の限界であるということが分かった。冬季もエアコンは十分利用頻度が上がるので、今回は予定されている公共施設の計画の中での改修ではなく、特に緊急時の対応として、補正予算に計上した。
保育園の副食費の補助の内容は。
令和7年1月から3月まで県の補助金を財源として、限定的に無償を実施する。
予算決算常任委員会
◎丸山国一 ○矢崎友規
中村勝彦 日向正
岡部紀久雄 廣瀬明弘
高畑一幸 青柳好文
高野浩一 飯島孝也
小林真理子 相沢俊行
小野公秀 佐藤浩美
有賀公子 萩原哲也

※甲州ワイン EU 輸出プロジェクト（Koshu Of Japan : KOJ）とは「甲州ワイン」を、ワインの本場 EU 市場に輸出することで、「甲州ワイン」の世界的な認知とともに、産地確立や市場拡大を狙うことを目的とした事業



令和7年4月1日より 甲州市国民健康保険税が 一部改正



シェアオフィス甲州
公式 HP

総務文教常任委員会を12月13日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

ポーツ協会やスポーツ少年団の使用は完全免除。
シェアオフィス甲州の指定管理者の指定
事業者の実績と選定委員会の評価を問う。

県内では2019年から、市内では昨年1月からコワーキングスペースを運営し、土日祝日の対応可で

市社会体育施設設置及び管理条例の一部改正
使用料免除について問う。
市及び教育委員会が主催する事業や大会、市ス



塩山北中閉校後も体育館やグラウンドが社会体育施設として活用される

総務文教常任委員会
◎高野浩一 ○飯島孝也
丸山国一 廣瀬明弘
高畑一幸 青柳好文
平塚 悟 相沢俊行
有賀公子

高齢者医療を担う 勝沼病院

厚生経済常任委員会を12月12日に開催しました。主な審査内容を要約してお伝えします。

市勝沼病院指定管理者の指定
地域医療体制計画における勝沼病院の位置づけはどのようなものか。
高齢化が進む本市において、高齢者の医療を支える環境づくりは今後さらに重要となる。加齢による外来受診が困難になった患者さんへの対応など、公的医療機関である勝沼病院がその役割を担うこととなる。

市診療所設置及び管理条例の一部を改正
落合出張診療所と一ノ瀬出張診療所の閉鎖の条例提案に至った経過で、利用者や地域の意見の内容は。
医療施設であるこの二診療所は耐震基準を満たしていない。今後は在宅医療へ移行し、建物もほかに利活用が考えにくい。地元の意見としては、出張診療所に出向くことも困難な方には、田中医師に自宅へ訪問診療をしていただく方が、実績もあるし、地域住民にとってもありがたいとお話も伺っている。

市診療所設置及び管理条例の一部を改正
落合出張診療所と一ノ瀬出張診療所の閉鎖の条例提案に至った経過で、利用者や地域の意見の内容は。
医療施設であるこの二診療所は耐震基準を満たしていない。今後は在宅医療へ移行し、建物もほかに利活用が考えにくい。地元の意見としては、出張診療所に出向くことも困難な方には、田中医師に自宅へ訪問診療をしていただく方が、実績もあるし、地域住民にとってもありがたいとお話も伺っている。

市勝沼病院指定管理者の指定
地域医療体制計画における勝沼病院の位置づけはどのようなものか。
高齢化が進む本市において、高齢者の医療を支える環境づくりは今後さらに重要となる。加齢による外来受診が困難になった患者さんへの対応など、公的医療機関である勝沼病院がその役割を担うこととなる。

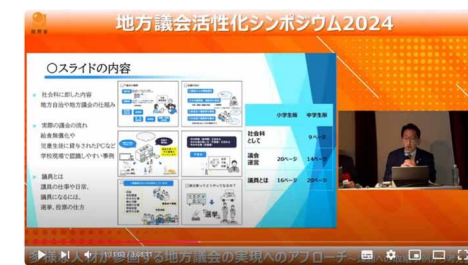
市勝沼病院指定管理者の指定
地域医療体制計画における勝沼病院の位置づけはどのようなものか。
高齢化が進む本市において、高齢者の医療を支える環境づくりは今後さらに重要となる。加齢による外来受診が困難になった患者さんへの対応など、公的医療機関である勝沼病院がその役割を担うこととなる。

地方議会活性化シンポジウムにパネリストとして登壇



地方議会活性化シンポジウム動画
(総務省 HP)

75号に掲載した甲州市議会が実施している「キャリア教育出前授業」が、総務省主催の地方議会活性化シンポジウム2024にて事例発表としての依頼を受けました。本シンポジウムは「多様な人材が参画する地方議会の実現へのアプローチ」課題への取組事例から考える「をテーマに2つのパネルディスカッションを行い、甲州市議会はパネルディスカッション1「地方議会の関心を高め、理解を深めるための取組事例」として京都府議会、東京都新島村議会と並び登壇しました。1時間ほどのパネルディスカッション。甲州市議会の取組をスライドや動画を用いて簡潔にまとめ、他の地方議会と共に地方議会活性化のための一役を担ってき



地方議会活性化シンポジウムにて
事例発表する丸山議員

る議会は全国に多々ありますが、全議員が全小中学校にて実施している出前授業となると唯一無二の事例となつている点があげられます。当日登壇した丸山議員は、継続していくことの大切さを提唱し、さらなるブラッシュアップを行う意欲を見せました。

本パネルディスカッションは動画配信アプリにて当日生配信を行い、右記QRにて録画配信を行っていました。

総務文教常任委員会

行政視察「茨城県境町編」

11月11日(月)、総務文教

常任委員会(9議員)にて、

ふるさと納税及び自動運転バスの視察に茨城県境町へ行政視察に向かいました。

境町はふるさと納税額が90億円を超えるなど、なにかと話題の町。町と民間の共同出資による「まちづくり公社」を作り、ふるさと納税の業務を全て担っています。

また自動運転バス(レベル4)の公道での本格運転を行っており、全国自治体の自動運転バスの先駆けとして、全国各地から視察研修を受け入れています。

町長の発案から自動運転バスの導入が動き出した境町、驚くべきはそのスピード感、発案から3カ月で議会の承認、町民の試乗会までを実施してしまいました。また、運用に掛かる経費についても、半分は地方創生推進交付金、もう半分はふるさと納税を活用しているため、実質的に町の持ち出



自動運転バスに試乗する委員

しはゼロという点も重要なポイントです。

実際に自動運転バスに乗り、担当者から将来の展望を聞く中で、境町のキャッチフレーズ「誰もが生活の足に困らない町」に着実に向かっていると想像が生まれました。

境町は安定したふるさと納税のマーケットを活かし、干し芋の関連商品や鰻、ワインなどの開発を展開しています。一方でふるさと納税の収収を一般財源として

消費せずに、将来の町の資産に繋がる使い方をしている点も、本市におけるふるさと納税の使い方を考えるうえで大いに参考すべき取組と感じました。

当日、本委員は午前中にふるさと納税の視察を行い、午後には実際に自動運転バスに乗り、日帰りという強行スケジュールではありましたが、非常に実のある行政視察となりました。

なお、本委員会の行政視察の詳細な報告書については右記QRから読むことが出来ます。



行政視察報告書
(市 HP)

総務文教常任委員会

行政視察「笛吹市編」

11月5日(火) 総務文教常任委員会(9議員)にて、笛吹市へ「AIデマンドバス」について行政視察に行きました。当委員会では「甲州市の公共交通のあり方」を研究課題とし、笛吹市、そして先ページの境町へと先進事例を学ぶべく調査しています。

笛吹市では令和6年1月からAIを活用した新たな交通システムで実証実験を開始し、現在は本格運行中です。本視察ではAIが途中の乗り合いを加味した最短ルートを選択する点や、予約方法として無料通信アプリを用いている点など、甲州市のデマンドバスとは異なる点を学び、また観光客への対応は想定してなく、タクシーや路線バスとの徹底した住み分けを行うなど、「市民の足」に重視した思い切った舵取りは、利用者満足度の90%が「満足」「やや満足」という点からする



A I デマンドバスの説明を受ける委員



行政視察報告書
(市 HP)

議会報告会初開催
議員一同、心よりご参加をお待ちしております。

2025 甲州市議会 議会報告会

2月7日(金) 甲州市民文化会館2階大会議室
18:30~20:00 甲州市塩山上塩後240

2月8日(土) 大和ふるさと会館 ホール
13:30~15:00 甲州市大和町初鹿野1693

2月9日(日) ぶどうの国文化館 研修室
13:30~15:00 甲州市勝沼町下岩崎10434-1

事前申込不要

△写真は12月定例会一般質問議員

甲州市議会では、市民に開かれた議会を目指すという考えのもと「議会報告会」を開催します。議会活動についての報告を行うとともに、参加者の皆様と議員が意見を交わし、現在の市政や将来の甲州市像について考える機会にしたいと思ひます。

- ▶第1部 ①議会の仕組み
②常任委員会の活動報告(約30分)

※スライド等を利用しわかりやすく説明します。

- ▶第2部 ①グループに分かれ意見交換会(約50分)

※気象警報等が発令された場合には中止になる事があります。

のんちゃん
絵日記



順位	都道府県
1	静岡県
2	東京都
3	神奈川県
4	千葉県
4	宮城県
6	高知県
7	愛知県
8	三重県
9	和歌山県
9	山梨県

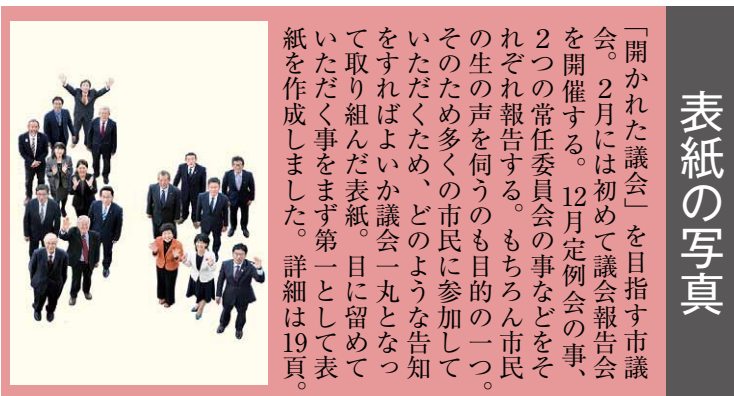
山梨は 9 位

家庭に非常用袋の
用意がある県ラン
ク



■新しい年を迎え既に1カ月が過ぎ去りました。議会広報編集委員会も委員の多くが変わったので、最初の発行が、最初の広報の発行が出来ましたのでここに皆様にお届けします。今年には「再生と復活」の象徴として新たなスタートを切る時期であります。已年は古来より知恵や成長をする年とされており、私たちの地域社会においても様々な挑戦を乗り越え再び活気を取り戻す事が期待されています。議会では地域の皆様の声を大切にし、共に未来を築くための取り組みとして議会報告会を計画しております。再生の力を信じ皆様と共に新たな一歩を踏み出して、準備も始まり復活の年として地域の絆を深め、より良い社会を目指すと共に、そのためのお役に立つ議会広報を発行してまいりたいと委員一同頑張ります。(岡)

市議会広報編集委員長 平塚 有賀 公子 悟
副委員長 丸山 国一 正
委員 日向 紀久 雄
委員 岡部 紀久 雄
委員 高畑 一幸
委員 青柳 好文
委員 小林 真理子
委員 相沢 俊行
委員 佐藤 浩美



3月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20	21	22
				本会議 (開会) 予算決算 常任委員会 (前期)		
23	24	25	26	27	28	3/1
2	3	4	5	6	7	8
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予備日	厚生経済 常任委員会	
9	10	11	12	13	14	15
	総務文教 常任委員会	予算決算 常任委員会 (補正予算)	予算決算 常任委員会 (当初予算)	予算決算 常任委員会 (分科会)	予算決算 常任委員会 (分科会)	
16	17	18	19	20	21	22
	予備日	予算決算 常任委員会 (後期)			本会議 (閉会)	

○午前10時開会です。(日程変更はホームページ等でご確認ください)
○市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひ議会議場・委員会室(市役所本庁舎3階)へお越しください。

輝く 甲州市民

きよくも りん
清雲 凛 さん

甲州市立塩山中学校 3年
(塩山ハンドボールスポーツ少年団
→塩山中学校ハンドボール部)

ハンドボールU15NTS(15歳以下
ナショナルトレーニングシステム)
センタートレーニング選出
(全国各地区ブロックセレクション
を突破した中学生を全国から28名
選出) R7.1.10~1.13 合宿実施



「小学校3年生から父親の影響で始めたハンドボール。」、競技の思い出は「厳しい練習でしたが小学校も中学校も全国大会など共に戦う仲間と色々な県へ行けて楽しかったです。先生やコーチには感謝しています。」と話す。「実はU13も選出されたが、コロナ禍で合宿はなくオンラインだった。」それでも「今回の関東会場での選考会では私より身長も大きく上手な選手ばかりだったため、選出された」と報告を受けたときは本当にびっくりしました。」との事。「味の素ナショナルトレーニングセンターでの4日間の合宿はとても充実した練習が出来ました。ハンドボール機関誌を読み込むのが好きなため、全国から招集された選手は、同年代ですが、有名人に会うような感じです、大変刺激になりました。」「高校でも競技を続けるので、もっと上を目指して頑張りたい」と話してくれました。

